

## 2D イメージャースキャナ

- MS832 -



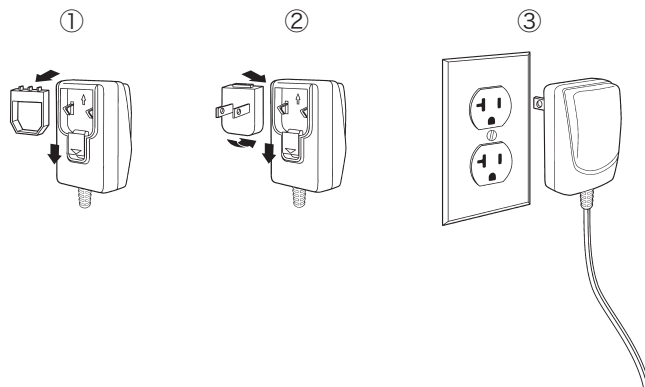
## クイックリファレンスガイド

バージョン 1.0

## はじめに

スキャナを接続する前にコンピュータの電源を切り、スキャナを完全に接続してからコンピュータの電源を入れてください。

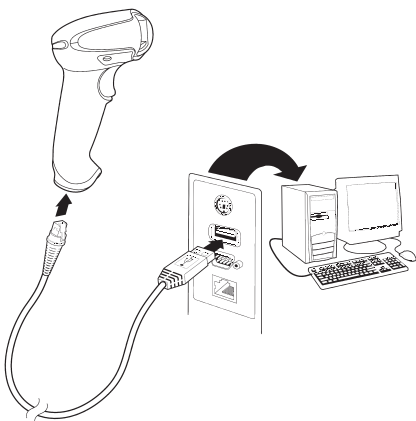
## AC アダプタの組立（含まれている場合）



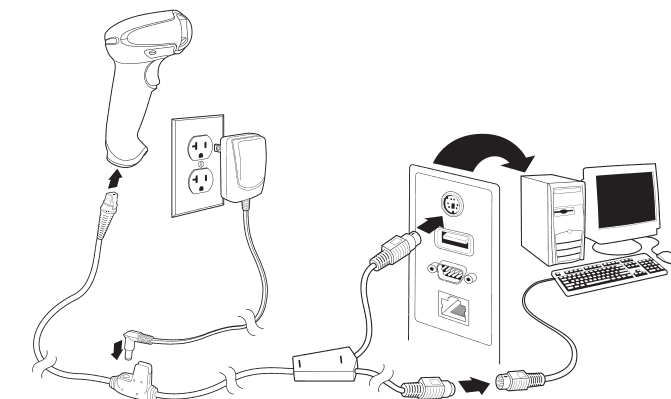
※AC アダプタが構成に含まれている場合、通常は組み立てられた状態で出荷されています。

## スキャナの接続

## USB ケーブル



## キーボードウェッジケーブル



## 読取り方

スキャナはバーコードの中央部に重ねるための照準ビームを照射していますが、読み取りやすくするために任意の向きに配置することができます。



トリガーボタンを押しながら、照準ビームをバーコードの中央部へ重ねてください。



照準ビームは、スキャナがバーコードに近い場合は小さくなり、バーコードから遠い場合は大きくなります。最適な読取り結果を得るために、バーコードが小さいときはスキャナを近づけ、バーコードが大きいときはスキャナを離します。

もしも、バーコードが高反射タイプ（ラミネート加工など）の場合には、バーコードを読取ることができるような角度にスキャナを傾ける必要があるかもしれません。

## 工場出荷標準値

このバーコードは、全ての設定を標準値へリセットします。



工場出荷標準値

## キーボードレイアウト

以下の適切なキーボードレイアウト設定バーコードを読み取って自国のキーボードレイアウトへ変更してください。

以下の文字はサポートしていますが、米国以外で使用する場合、適切なキーボードレイアウトへの変更が必要です：

@ | \$ # { } [ ] = / ' \ &lt; &gt; ~

United States  
(標準値)

日本語 ASCII

## トリガー

以下のバーコードは「マニュアルトリガー【ノーマル】」または「プレゼンテーションモード」を使用できるようになります。

- ・マニュアルトリガー【ノーマル】：読取にトリガーを押す必要がある
- ・プレゼンテーションモード：バーコードを検知すると自動で起動する

マニュアルトリガー【ノーマル】  
(標準値)

プレゼンテーションモード

## サフィックス

バーコードデータの末尾に「改行キー（ENTER）」を付加したい場合は **CR サフィックス追加** を、「TAB キー」を付加したい場合は **TAB サフィックス追加** を、サフィックスを使用しない場合は **サフィックスなし** をスキャンしてください。



CR サフィックス追加



TAB サフィックス追加

サフィックスなし  
(標準値)

## 全てのバーコードシンボルにコード ID を付加する

一度に全てのバーコードシンボルに対してコード ID を付加したい場合は、以下のバーコードをスキャンしてください。

全シンボルにコード ID を付加する  
(一時的)

## 機能コード送信

この設定が有効でスキャンしたバーコードデータに機能コードが含まれているとき、スキャナは機能コードをターミナルに送信します。これらの機能コードの一覧表はユーザーマニュアルによって提供されます。スキャナがキーボードウェッジモードの場合、スキャンコードは送信前にキーコードへ変換されます。

機能コード送信 有効  
(標準値)

機能コード送信 無効

## インターフェイス

使用するインターフェイスを以下のバーコードから 1 つスキャンしてください。通常、出荷時に適切に設定されているため変更する必要はありません。



キーボードウェッジ

IBM PC/AT 互換機 CR サフィックス付き

USB IBM SurePOS  
(USB ハンドヘルドスキャナ)USB IBM SurePOS  
(USB テーブルトップスキャナ)USB キーボード (PC)  
CR サフィックス付きUSB キーボード (Mac)  
CR サフィックス付き

USB 日本語キーボード (PC)



USB HID バーコードスキャナ

携帯電話読取りモード

この設定が選択されたとき、スキャナは携帯電話の画面やその他の LED ディスプレイ上のバーコードを読取るために最適化されます。ただし、このモードが有効になっているとき、印刷されたバーコードの読取りが遅くなる場合があります。



ハンドヘルドスキャンング【携帯電話】



プレゼンテーションスキャンング【携帯電話】

注意 1：  
携帯電話読取りモードを止めるには、前ページのマニュアルトリガー【ノーマル】バーコードをスキャンしてください。

注意 2：  
この機能は、すべての携帯電話の画面や LED ディスプレイ上のバーコードが読み取れることを保証するものではありません。

デコーダバージョン

デコーダのバージョンを出力するには次のバーコードをスキャンしてください。



デコーダバージョン表示

スキャンドライババージョン

スキャンドライバのバージョンを出力するには次のバーコードをスキャンしてください。



スキャンドライババージョン表示

ソフトウェアバージョン

現在のソフトウェアのバージョン、シリアルナンバー、その他製品情報を出力するには次のバーコードをスキャンしてください。



ソフトウェアバージョン表示

Caps Lock モード

Caps Lock が OFF の状態でデータを出力する場合は**レギュラー**を、Caps Lock が ON の状態でデータを出力する場合は **Caps Lock** をスキャンしてください。



レギュラー  
(標準値)



Caps Lock

注意：  
コンピュータの Caps Lock の状態によって、期待したデータと異なるデータが出力される可能性があります。

文字変換

アルファベットを全て大文字または全て小文字に変換して出力したい場合は、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



文字変換を行なわない  
(標準値)



全て大文字に変換する



全て小文字に変換する

注意：  
この設定を使用する場合、最初に Caps Lock モードを**レギュラー**に変更し、コンピュータの Caps Lock の状態を**オフ**にしてください。そうでなければ、期待したデータと異なるデータが出力される可能性があります。

起動時のビープ音

スキャナ起動時のビープ音を制御することができます。



起動時にビープ音を鳴らさない



起動時にビープ音を鳴らす  
(標準値)

読取り成功時のビープ音

バーコード読取り成功時のビープ音を制御することができます。



読取り成功時にビープ音を鳴らさない



読取り成功時にビープ音を鳴らす  
(標準値)

ビープ音量

ビープ音の音量を制御することができます。



音量 小



音量 中



音量 大  
(標準値)



オフ

英数字バーコード（続き）



8



9



A



B



C



D



E



F



保存

Codabar(NW7) のスタートストップ文字

この設定が有効のとき、Codabar(NW-7) の先頭および末尾のスタートストップ文字が送信されます。



有効



無効  
(標準値)

Code39 のスタートストップ文字

この設定が有効のとき、Code39 の先頭および末尾のスタートストップ文字が送信されます。



有効



無効  
(標準値)

先頭 0 の JAN13 コードの読取りについて

先頭が 0 から始まる JAN-13 コードを読取ったとき、標準では 12 桁のデータ (UPC-A) として処理されます。先頭が 0 から始まる JAN-13 コードを 13 桁のまま読取るには、UPC-A の読取りを許可しない設定に変更してください。



UPC-A 読取り 許可する  
(標準値)



UPC-A 読取り 許可しない

注意：  
UPC-A 読取りを**許可しない**場合、UPC-A は JAN-13 に変換処理されます。

日本語を含む QR コードの読取りについて

日本語や全角文字を含んだ QR コードを読取る場合、スキャナを USB 仮想 COM モードに変更する必要があります。USB 仮想 COM モードで使用するには専用ドライバのインストールとシリアル通信プログラムが必要になります。詳細は、MS832 USB 仮想 COM ドライバインストールマニュアルをご覧ください。



USB 仮想 COM モード

注意：  
使用しているインターフェイスがキーボードウェッジの場合、日本語を含んだ QR コードの読取りはできません。ご注意ください。